# 令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

帯広市立明和小学校

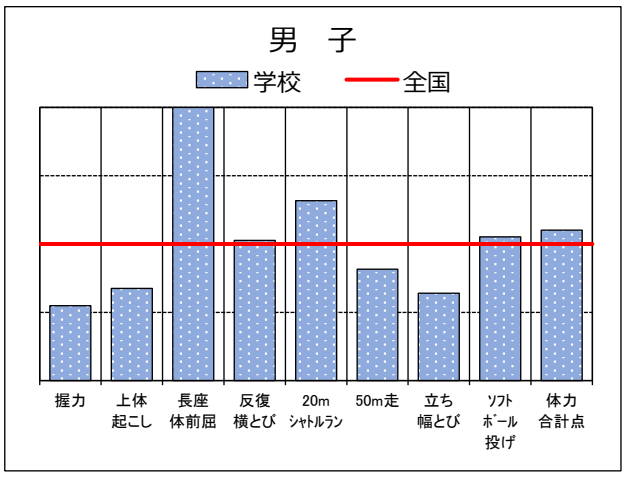
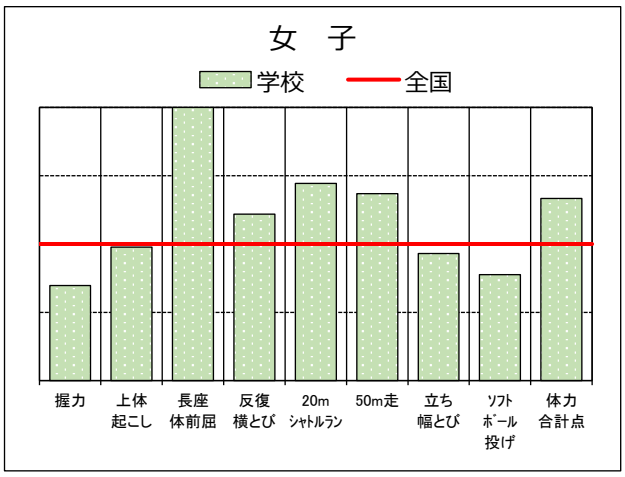
第５学年を対象として行われた、令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の本校の状況についてお知らせいたします。

８種目の体力テストの成績を得点化した総和である体力合計点でみると、男子、女子ともに全国平均点を上回る結果となりました。

男子は８種目中４種目（長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、ソフトボール投げ）で全国平均を上回りました。女子は８種目中４種目（長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m 走）で全国平均を上回りました。一方、男子では、４種目（握力、上体起こし、50m走、立ち幅とび）で、女子は４種目（握力、上体起こし、立ち幅とび、ソフトボール投げ）で、全国平均を下回る結果となっています。

児童質問調査においては、男子、女子ともに、「運動が好き」「運動やスポーツをすることに興味や関心がある」「体育の授業は楽しい」と答えた児童の割合が全国を上回っています。一方で、「体育の授業はあまり楽しくない」と答えた児童の割合が男子、女子ともに、全国平均を上回る結果も出ています。

なお、平日に学習以外でテレビやゲーム、スマートフォンやパソコンを見る時間は、全国平均を上回る結果となっています。

本校といたしましては、引き続き、適切な運動量を確保する体育科等の授業改善や体力向上に係る取組を推進するとともに、家庭や地域、関係機関と連携しながら、児童の生活習慣の見直しの働きかけを行いたいと考えております。

なお、本調査の結果につきましては、全国学力・学習状況調査の結果同様に「学校教育の状況に関する説明責任を行う」として、また「学校・家庭・地域が情報を共有しつつ、連携協働し子ども達の体力向上にそれぞれの立場から働きかける」としての観点から、全国平均と本校の平均とを比較したグラフを下記に示させていただきました。 体力や運動能力等に関する調査につきましては、地域や学校により、学力に関する調査以上に「実施上の条件の差異」が見られることから、単に数値だけでは判断できないことをご理解しつつ、ご確認いただければと考えております。